

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

子ども未来部幼児保育課

子ども未来部長 伊藤 奈美

整理No.	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
22-1	民間保育所運営事業	あり	D	令和3年度においては、子育て世代の女性の就業率が上昇したことなどに伴い、0歳児クラスの入所児童数が増加し、結果として年度途中に待機児童が発生した。引き続き、公立保育所の民営化を含め低年齢児の定員拡充に努める。また、国・県補助金である「保育対策総合支援事業費補助金（保育補助者雇上強化事業）」の活用や、市単独事業である「民間保育所運営費補助金（配置強化職員費）」の交付を行うことで、民間保育所等における保育士の業務負担軽減や離職防止に寄与した。	改善 推進	令和元年度に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、令和5年度からの花園保育園の民営化を皮切りに、民間保育所の拡充を進めるとともに、民間保育所と公立保育所が連携し、多様化する保育ニーズに対応していく。また、公立保育所の民営化を進めていくにあたり、引き続き、国・県補助金を活用し、民間保育所等における保育の質の確保及び職員の離職防止に努める。
22-2	地域型保育事業	あり	D	地域型保育事業については、年間を通じて入所率は高く、保育の受け皿として十分機能しているが、子育て世代の女性の就業率が上昇したことなどに伴い、0歳児クラスの入所児童数が増加し、結果として年度途中に待機児童が発生しており、依然として待機児童解消には至っていない。	現状 維持	令和元年度に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、民間保育所の拡充を進めることから、今後の地域型保育事業の拡充は見込まない。低年齢児の保育需要に対しては、令和5年度からの花園保育園の民営化を皮切りに、低年齢児の定員拡充を行い、民間保育所、公立保育所と連携し、低年齢児の待機児童の解消に努める。
22-3	市立保育園管理運営事業	なし	D	保育が必要な就学前児童に対し、施設の維持・管理等の環境整備に努め、円滑に保育・教育を実施することができた。しかし、年度途中において待機児童が発生しているため、公民連携更新計画の中で民間保育所等と連携し、解消に努めていく必要がある。 また、令和元年度から白山保育園において開所した発達支援通級クラスひまわり組を、令和3年度から週5日開所し、保育サービスの拡充に努めた。	改善 推進	公立保育所施設の維持管理及び保育の質の向上に努めるとともに、半田市子ども・子育て支援事業計画を基に保育サービスの改善に努める。また、令和5年度に花園保育園を民営化し、低年齢児の定員拡充を図る。さらに、令和元年度に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、引き続き、公立保育所の民営化などによる低年齢児の定員拡充を図り、保育サービスの拡充に取り組むなど、待機児童の解消に努めていく。

整理No.	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
22-4	保育園給食調理等 業務委託事業	あり	B	計画通り葵保育園、有協保育園、白山 保育園、東保育園、修農保育園、横川 保育園、高根保育園、花園保育園、協 和保育園、岩滑北保育園、清城保育 園の11園で調理委託を行い、園児に 継続的に安全・安心な給食の提供を 行った。併せて、専門業者ならではの食 育活動の提案を受けこれを実践し、乳 幼児期に重要な食育の充実を図ること ができた。また、用務業務も同時に委託 を行い、園内の環境整備を維持できた。	拡充 推進	令和4年度から新たに平地保育園、乙 川保育園で調理委託を開始し、園児に 継続的に安全・安心な給食の提供を行 う。
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
D	・保育園においては、低年齢児の保育ニーズの高まりにより、年度途中で待機児童が発生している状況がある。そのため令和5年度からの花園保育園の民営化を皮切りに、民間保育所の拡充を進めるとともに、民間保育所と公立保育所が連携し、低年齢児の受け入れ枠の拡大や多様化する保育ニーズに対応していく必要がある。 ・給食調理等業務委託において、令和3年度には新たに東保育園、清城保育園で給食調理等の業務委託を行い、園児に安全・安心な給食の提供と食育の充実を図った。継続的、効果的に安心・安全な給食の提供に向け令和4年度から新たに平地保育園、乙川保育園で調理委託を開始する予定である。					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
D	就学前の子どもたちが保育園で受ける教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものであり、働く親への子育て支援の場という面でも、保育園は重要な役割を担っている。子育て世代の女性の就業率が上昇したことなどに伴う0歳児クラスの保育ニーズの高まりを受け、年度途中で待機児童が生じる状況であるため、令和5年度からの花園保育園の民営化を皮切りに、民間保育所の拡充を進めるとともに、「半田市子ども・子育て支援事業計画」や、「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、民間保育所等と連携し、必要に応じ受け入れ体制の拡充に努めるとともに、保育の質の向上に努めること。					